

ま え が き

本書は、平成12年1月24日と25日の両日、広島・八丁堀シャンテにおいて「地方分権型社会の実現と地域経営」をテーマに開催した第12回研究集会の報告書です。過去、2回の研究集会と同様に、広島大学経済学部附属地域経済システム研究センター、地域経済研究推進協議会、地方シンクタンク協議会中国・四国ブロック、中国地方シンクタンク協議会の四者の共催により実施いたしました。この度の研究集会は、10年間の時限を迎えて、改組転換により地域経済研究センターから地域経済システム研究センターに衣替えをしてはじめての年次大会にあたります。

これまで毎年開催されてきた研究集会においては2日間にわたって開催されてきましたが、今回もこの形態を踏襲し、初日に基調講演とパネル討論会、2日目には、中国四国地域を代表するシンクタンクの研究員の方々に、地域経済に関連した研究報告をしていただきました。

地域経済システム研究センターにおいては、『グローバル時代における地域経済の持続的発展策の研究』を活動目的に掲げ、そのもとで、「地方分権型社会における自立的地域経済システムの構築」と「地域間の連携・協力と環瀬戸内経済文化圏の形成」の2つを大きな研究課題として定めています。今回のテーマはこのうちの前者に相当しています。基調講演にはこの方面においてわが国で第一人者である京都大学大学院経済学研究科の吉田和男先生をお迎えし、「地方分権の諸条件」についてお話しいただきました。また、その後、基調講演の内容を踏まえ、上記のテーマに関して4名のパネリストの先生方により活発な討論が展開されました。

2日目研究報告においては、共催団体である2つのシンクタンク協議会が中心となって研究報告者の調整をすすめていただき、第1部と第2部では、地域経済システム研究センターはそれぞれの研究報告に対する討論や座長を務めました。また、今回の新たな試みとして、第3部では大学研究者により研究報告を行って、それに対してシンクタンクの研究者による討論が行われ、大学とシンクタンクの相互連携がいっそう密接となったと言えます。

最後になりましたが、地域の皆様方には、当日の研究集会に多数のご参加をいただき、おかげで大変有意義な成果をあげることができたことに対してお礼申し上げます。また、本書をさくせいするにあたり、センターの客員研究員の平尾元彦先生をはじめとするセンター関係スタッフにお世話になりました。皆様方のご協力に厚くお礼申し上げます。

平成13年2月

広島大学経済学部教授

地域経済システム研究センター長 戸 田 常 一